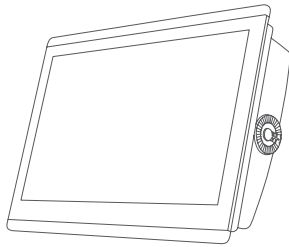


GARMIN.



GPSMAP® 8400/8600 シリーズ インストールガイド

安全に関する警告と注意事項

警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。また、適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

注意

掘削、切断、または研磨を行っている間は、保護ゴーグル、防音保護具、および防塵マスクを忘れずに着用してください。

注記

ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

最高のパフォーマンスを実現し、ポートの破損を防ぐために次の手順に従ってデバイスを取り付けます。

取り付けの前に、インストールガイドをすべてお読みください。取り付け時に問題が発生した場合は、Garmin®製品サポートにお問い合わせください。

Garmin サポートへのお問い合わせ

- 製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。
- 米国：913-397-8200 または 1-800-800-1020
- 英国：0808 238 0000
- 欧州：+44 (0) 870 850 1241

デバイスソフトウェアを更新する

このデバイスを取り付けたり、ネットワークにアクセサリを追加する場合に、デバイスソフトウェアの更新が必要な場合があります。2種類の方法のいずれかを使用してソフトウェアを更新できます。

- ActiveCaptain™ アプリを使用します。
- メモリーカード (最大 32 GB) と Windows® オペレーティングシステムを実行しているコンピュータを使用して、www.garmin.com/support/software/marine.html から更新をダウンロードします。

詳細については、www.garmin.com/manuals/GPSMAP84xx-86xx でオーナーズマニュアルを参照してください。

デバイスの登録

今すぐオンライン登録を完了していただければ、お客様へのサポートはさらに容易になります。2種類の方法のいずれかを使用してデバイスを登録できます。

- ActiveCaptain アプリを使用します。
- my.garmin.com/registration にアクセスし、Garmin アカウントにサインインしてデバイスを登録してください。

購入時のレシートの原本またはコピーは安全な場所に保管しておいてください。デバイスをチャートプロッターのネットワークに追加した後で、新しいデバイスを登録します。

必要な工具

- ドリルとドリルビット
 - 3.0 mm (1/8 in.) ベイルマウント用のドリルビット
 - 14.6 mm (9/16 in.) フラッシュマウント用のドリルビット
 - 3.2 mm (1/8 in.) 木製ねじを使用するフラッシュマウント用のドリルビット
 - 3.6 mm (9/64 in.) ナットプレートを使用するフラッシュマウント用のドリルビット
 - 6.0 mm (1/4 in.) ナットプレートを使用するフラッシュマウント用のドリルビット
- #2 プラスドライバー
- 糸のこまたはロータリーツール
- やすりとサンドペーパー
- 船舶グレードのシーリング材、プラスチックへの使用が認可 (推奨)

取り付けに関する注意事項

注記

このデバイスは、過酷な温度環境や状況にさらされない場所に取り付ける必要があります。このデバイスに適した温度の範囲は、製品の仕様に記載されています。保管の場合でも、稼動状況であっても、仕様で定められた適切な温度の範囲を外れて、過酷な温度に長時間さらされている場合、デバイスが故障する可能性があります。過酷な温度で生じた損害や派生的な結果については、保証の対象外になります。

デバイスはダッシュボードにフラッシュマウントするか、ベイルマウントできます。

取り付ける場所を決めたら、次の注意事項に従ってください。

- ポートを操作するときには最適な視野角になるように、デバイスを取り付けてください。
- デバイスの重量を支え、過度の振動や衝撃からデバイスを保護するのに十分な強度のある場所を選択する必要があります。
- 磁気コンパスとの干渉を避けるために、製品の仕様書に記載されているコンパスの安全距離値よりコンパスに近い位置にデバイスを取り付けしないでください。
- すべてのケーブルを配線して接続するスペースを確保できる場所を選択する必要があります。
- デバイスのタッチスクリーンに簡単にアクセスできる場所を選択してください。
- デバイスの背面にある microSD® カードにアクセスできる場所を選択してください。その場所にアクセスできない場合は、デバイスを取り付ける前にメモリーカードを挿入する必要があります。

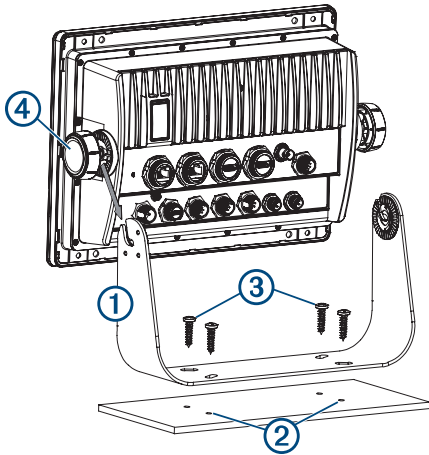
デバイスをベイルマウントで取り付ける

注記

ねじでブラケットをグラスファイバーに取り付ける場合は、カウンターシンク形のドリルで、最上部のジェルコーティング層のみにカウンターボア (ナットの頭を収める空間) を開けることをお勧めします。このように処理することで、ねじを締めるときにジェルコーティング層のひび割れを防ぐことができます。

ブラケットを使用して、デバイスを平面にベイルマウントできます。一部のモデルにはブラケットと金具が付属しています。

- 1 ベイルマウントブラケット ① をテンプレートとして使用して、パイロット穴 ② をマークします。



- 2 3 mm (1/8 in.) ドリルビットを使用して、パイロット穴を開けます。
- 3 付属のワッシャーと木製ねじ ③ を使用して、ベイルマウントブラケットを表面に固定します。
- 4 デバイスの左右にベイルマウントノブ ④ を取り付けます。
- 5 デバイスをベイルマウントブラケットに取り付けて、ベイルマウントノブを締めます。
- 6 トリムキャップをデバイスの端の近くにはめ込んで取り付けます。

デバイスの取り付け

注記

デバイスをフラッシュマウントで取り付けるために穴を開ける場合は、十分に注意してください。ケースと取り付け穴の間には、ほんのわずかの空間しかなく、穴を大きく開けすぎると、取り付け後でデバイスが安定しなくなる可能性があります。

このデバイスを取り付けるときは、付属の金具のみを使用してください。デバイスに付属しない取り付け金具を使用すると、デバイスを破損する恐れがあります。

粉体塗装の損傷を防ぐために、付属のねじのみを使用してデバイスを取り付けます。付属のねじ以外を使用すると、保証が無効になります。

取り付けが完了するまで、青色のゴム製保護バンパーを取り外さないでください。このバンパーにより、設置時にデバイスを損傷から保護できます。

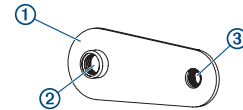
設置後にデバイスの後部と microSD メモリーカードスロットにアクセスできなくなる場合は、設置する前に microSD メモリーカードを差し込む必要があります。

付属のテンプレートと部品を使用して、デバイスをダッシュボードにフラッシュマウントすることができます。取り付け面の材質に応じて、ハードウェアには 3 つのオプションがあります。

- パイロット穴を開けて、付属の木製ねじを使用できます。
- 穴を開けて、付属のナットプレートと小ねじを使用できます。ナットプレートを使用すると、取り付け面が薄い場合に安定性が増します。
- ドリルで穴を開け、M4 に雌ねじ切りして、付属の小ねじを使用できます。

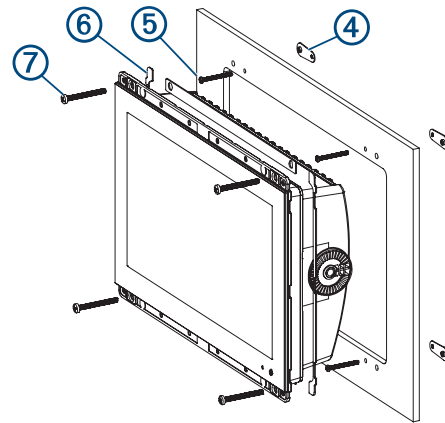
- 1 テンプレートを取り出して、デバイスを取り付ける場所にテンプレートがフィットすることを確認します。
- 2 選択した場所に、テンプレートをしっかりと取り付けます。
- 3 14.6 mm (9/16 in.) ドリルビットを使用して、テンプレート上の実線のコーナー内側に 1 カ所以上の穴を開けて、取り付け面を切断する準備をします。

- 4 糸のこまたはサンダーを使用して、テンプレート上の実線の内側に沿って取り付け面を切断します。
- 5 切断部に合わせてデバイスを置き、上手くフィットするか確認します。
- 6 必要に応じて、やすりとサンドペーパーを使用して切断部のサイズを調整します。
- 7 デバイスが切断部に正しくフィットしたら、デバイスの取り付け穴とテンプレートの大きい 6 mm (1/4 in.) の穴がぴったり合っているか確認します。
- 8 デバイスの取り付け穴の位置が合わない場合は、新しい穴の場所にマークを付けます。
- 9 取り付け面に応じて、ドリルまたはパンチなどを使用して大きい穴を開けます。
 - 付属の木製ねじ用に、ドリルで 3.2 mm (1/8 in.) のパイロット穴を開けて、手順 18 に進みます。
 - 付属のナットプレートと小ねじ用に、ドリルで 6 mm (1/4 in.) の穴を開けます。
 - 付属の子ねじ用にドリルで M4 穴を開けて雌ねじ切りし、手順 18 に進みます。
- 10 ナットプレートを使用する場合は、テンプレートの 1 つのコーナーから始めて、手順 9 で開けた大きな穴 ② にかぶせるようにナットプレート ① を置きます。



ナットプレートにある小さい穴 ③ は、テンプレートにある 3.6 mm (9/64 in.) の小さい穴と位置を合わせてください。

- 11 ナットプレートの小さい穴がテンプレートの小さい穴と合わない場合は、新しい穴の位置にマークを付けます。
- 12 ナットプレートごとに手順 10 と 11 を繰り返します。
- 13 3.6 mm (9/64 in.) ドリルを使用して、小さい穴を開けます。
- 14 取り付け面からテンプレートを取り外します。
- 15 取り付け位置の 1 つのコーナーから、ナットプレート ④ を取り付け面の後ろに置き、大小の穴の位置を合わせます。ナットプレートの盛り上がった部分が大きい穴にフィットする必要があります。



- 16 付属の M3 ねじ ⑤ を 3.6 mm (9/64 in.) の小さい穴に締めて、ナットプレートを取り付け面に固定します。
- 17 デバイスの上面と下面に沿って、ナットプレートごとに手順 15 および 16 を繰り返します。
- 18 デバイスの後部に発泡ガスケット ⑥ を取り付けます。一部の発泡ガスケットは、裏側に接着面があります。これらをデバイスに取り付ける前に、保護ライナーを取り外したことを確認します。

- 19 取り付けした後でデバイスの後部に手が届かなくなる場合は、デバイスの後部に必要なケーブルをすべて接続し、microSD カードを差し込んでから、切断部に取り付けます。
- 注：金属の接触部が腐食しないように、未使用のコネクタには付属のウェザーキャップを取り付けます。
- 20 ダッシュボードの後部の水漏れを防止するために、取り付け面とデバイス間に耐海水性のシーリング材を塗布してしっかりと密封します。
- 21 デバイスの後部に手が届く場合は、切断部にも耐海水性のシーリング材を塗布します。
- 22 デバイスを切断面に合わせます。
- 23 取り付け方法に応じて、付属の M4 ねじ ⑦ または木製ねじを使用して、デバイスを取り付け面に固定します。
- 24 ゴム製保護バンパーを慎重に取り外して廃棄します。
- 25 余分な耐海水性のシーリング材をすべて拭き取ります。
- 26 トリムキャップをデバイスの端の近くにはめ込んで取り付けます。

接続に関する注意事項

このデバイスを電源およびその他の Garmin デバイスに接続する場合は、次の注意事項に従ってください。

- 電源とアース端子をバッテリーに接続する際には、しっかりと固定されていて、外れないことを確認する必要があります。
- ケーブルはロックリングを装着していない状態で梱包されている場合があります。中ナットを取り付ける前にケーブルを接続する必要があります。
- ケーブルに中ナットを取り付けた後、このナットおよび O リングがしっかりと取り付けられていて、他の電源やデータケーブルが固定されていることを確認します。

電源を接続する

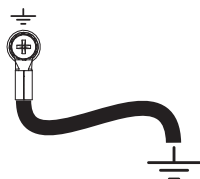
警告

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。また、適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

- 電源とデバイスに電源ケーブルを接続します。
- 正極 (+) のバッテリー端子に赤いケーブルを接続し、負極 (-) のバッテリー端子に黒いケーブルを接続します。
- 電源ケーブルをデバイスに接続し、ロックリングを時計回りに回して締めます。

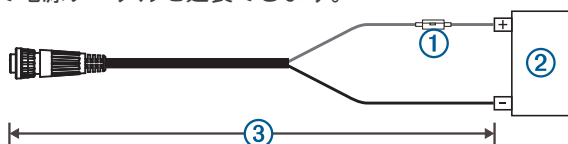
その他のアースに関する注意事項

このデバイスは、ほとんどのインストールの場合において、シャーシによるアースを追加する必要はありません。干渉が発生している場合は、ハウジングのアースねじを使用し、船舶の水面アースにデバイスを接続して、干渉を避けることができます。

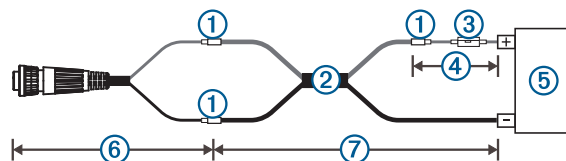


電源ケーブルの延長

延長する距離に応じて適切な電線規格を使用することで、必要に応じて電源ケーブルを延長できます。



アイテム	説明
①	ヒューズ
②	電池
③	6 ft. (1.8 m) 延長なし



アイテム	説明
①	延長
②	<ul style="list-style-type: none"> 10 AWG (5.26 mm²) 延長ケーブル、最大 4.6 m (15 ft.) 8 AWG (8.36 mm²) 延長ケーブル、最大 7 m (23 ft.) 6 AWG (13.29 mm²) 延長ケーブル、最大 11 m (36 ft.)
③	ヒューズ
④	8 in. (20.3 cm)
⑤	電池
⑥	8 in. (20.3 cm)
⑦	36 ft. (11 m) 最大延長

Garmin Marine Network に関する注意事項

注記

FLIR®カメラなどのサードパーティデバイスを Garmin Marine Network に接続する場合は、Garmin Power over Ethernet (PoE) 分離カプラー (P/N 010-10580-10) を使用する必要があります。PoE デバイスを Garmin Marine Network 海図プロッタに直接接続すると、Garmin 海図プロッタが損傷し、PoE デバイスが損傷する可能性があります。Garmin Marine Network 海図プロッタにサードパーティ製デバイスを直接接続すると、正常にオフにならない、またはソフトウェアを操作できないなど、Garmin デバイスで異常な動作が発生します。

このデバイスは増設の Garmin Marine Network デバイスに接続して、レーダー、ソナー、詳細地図など、データを共有することができます。Garmin Marine Network デバイスをこのデバイスに接続する場合、次の注意事項に従ってください。

- Garmin Marine Network に接続されたデバイスはすべて、同じアースに接続してください。
- すべての Garmin Marine Network 接続に、Garmin Marine Network ケーブルを使用する必要があります。
 - Garmin Marine Network の接続には、サードパーティ製の CAT5 ケーブルや RJ45 コネクタを使用しないでください。
 - 追加の Garmin Marine Network ケーブルやコネクタは、担当の Garmin 販売店から入手できます。
- このデバイスには、それぞれがネットワークスイッチとして機能する NETWORK ポートがあります。互換デバイスは、NETWORK ポートに接続して、Garmin Marine Network ケーブルで結ばれているポート上の全デバイスとデータを共有できます。

ステーションの接続に関する注意事項

このデバイスは、他の互換 Garmin デバイスと連携するように設定して、ステーションとして統合的に使用できます。ポートでステーションの使用を計画している場合、次の注意事項に従ってください。

- GPSMAP 8000 シリーズおよび GPSMAP 8500 シリーズより前のデバイスはステーションで使用できません。
- 必須ではありませんが、ステーションで使用する予定の全デバイスは互いに近い位置に取り付けることをお勧めします。
- すべてのデバイスが Garmin Marine Network (「Garmin Marine Network に関する注意事項, 3 ページ」) に接続されて

いる限り、ステーションを構築するのに特別な接続は必要ありません。

- ステーションの構築と変更は、デバイスソフトウェアを使用して行います。詳細は、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

NMEA 2000® に関する注意事項

注記

既存の NMEA 2000 ネットワークに接続している場合は、NMEA 2000 電源ケーブルを識別します。NMEA 2000 ネットワークで正常に動作させるには、NMEA 2000 電源ケーブルは 1 本のみ必要です。

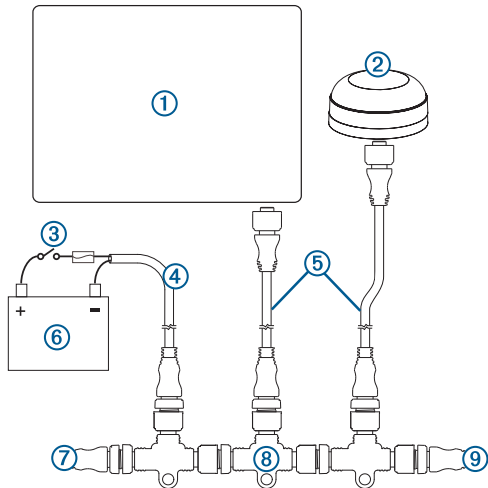
既存の NMEA 2000 ネットワークのメーカーが不明な施設では、NMEA 2000 Power Isolator (010-11580-00) を使用してください。

NMEA 2000 電源ケーブルを取り付ける場合は、そのケーブルをポートのイグニションスイッチまたは別のインラインスイッチに接続する必要があります。NMEA 2000 電源ケーブルがバッテリーに直接接続されている場合、NMEA 2000 デバイスによりバッテリーの電力が消費されます。

このデバイスはポート上の NMEA 2000 ネットワークに接続して、GPS アンテナや VHF ラジオなど、NMEA 2000 互換デバイスとデータを共有できます。付属の NMEA 2000 ケーブルとコネクタを使用すると、デバイスを既存の NMEA 2000 ネットワークに接続できます。既存の NMEA 2000 ネットワークが無い場合は、Garmin 製ケーブルを使用して基本的なネットワークを構築できます。

NMEA 2000 について知識に不安がある場合は、『NMEA 2000 製品のテクニカルリファレンス』の「NMEA 2000 ネットワークの基本」の章を参照する必要があります。 www.garmin.com でお使いのデバイスの製品ページの「マニュアル」リンクを使用してこのドキュメントを見つけることができます。

デバイスを標準的な NMEA 2000 ネットワークに接続するには、NMEA 2000 とラベルが付いたポートを使用します。



アイテム	説明
①	NMEA 2000 互換 Garmin デバイス
②	GPS アンテナ
③	イグニションまたはインラインスイッチ
④	NMEA 2000 電源ケーブル
⑤	NMEA 2000 ドロップケーブル
⑥	DC 12 V 電源
⑦	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル
⑧	NMEA 2000 T コネクタ
⑨	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル

J1939 エンジンネットワーク接続に関する注意事項

注記

チャートプロッタを J1939 エンジンネットワークに接続するときには、水分による腐食を防止するため、Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルを使用する必要があります。別のケーブルを使用した場合、保証が無効になります。

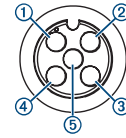
ポートに既存のエンジンネットワークがある場合、既にそのシステムは電源に接続されている必要があります。他の電源は追加しないでください。

このチャートプロッタをポート上のエンジンネットワークに接続すると、特定のエンジンなどの互換デバイスからデータを読み込むことができます。エンジンネットワークは、規格に従い、専用のメッセージを使用します。

1つのエンジンネットワークに接続できるチャートプロッタは 1 台だけです。複数のチャートプロッタを 1つのエンジンネットワークに接続すると、予期しない動作を引き起こす可能性があります。

デバイスを既存のエンジンネットワークに接続するには、J1939 のラベルが付いたポートを使用します。ケーブルは、エンジンネットワークバックボーンの 6 m (20 ft.) 以内に配線する必要があります。

Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルは、電源と適切な終端に接続する必要があります。エンジンネットワークへの接続方法について詳しくは、メーカーのエンジンの説明書等を参照してください。



ピン	ケーブルの色	説明
①	裸線	シールド
②	赤	電源、正
③	黒	電源、負
④	白	CAN 高
⑤	青	CAN 低

HDMI®ビデオに関する注意事項

注記

水分による腐食を防止するために、チャートプロッタは Garmin GPSMAP 付属ケーブルを使用してビデオソースまたはディスプレイに接続する必要があります。メディアプレーヤースティックをチャートプロッタの背面に直接接続しないでください。別のケーブルを使用したり、メディアプレーヤースティックをチャートプロッタの背面に接続した場合、保証が無効になります。

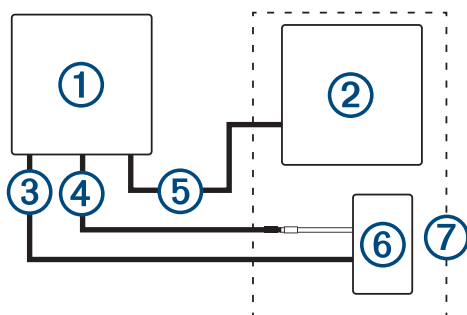
このチャートプロッタでは、Chromecast™ デバイスや Blu-Ray™ プレーヤーなどの HDMI ビデオソースからビデオ入力できます。チャートプロッタ画面に、保護された HDMI コンテンツ (HDCP コンテンツ) を表示できます。HDMI ビデオは Garmin Marine Network で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。HDCP コンテンツは Garmin Marine Network で共有されません。

HDMI OUT ポート経由で、テレビやモニターなどの他のデバイス上にチャートプロッタ画面を複製できます。複製された画面には、HDCP コンテンツを表示できません。

Garmin GPSMAP HDMI 付属ケーブルの長さは 4.5 m (15 ft.) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ずアクティブ HDMI ケーブルを使用してください。2本の HDMI ケーブルを接続するには、HDMI カプラーが必要です。

メディアプレーヤースティックに電力を供給するには、Garmin GPSMAP USB OTG アダプターケーブルが必要です。USB ポートから、最大 2.5 W の電力をメディアプレーヤースティックに供給できます。

すべてのケーブル接続は、水気のない所で行う必要があります。



アイテム	説明
①	GPSMAP 8400/8600 チャートプロッタ
②	HDMI 入力ポートで表示 (コンピュータやテレビなど)
③	GPSMAP HDMI ケーブル (HDMI IN)
④	可能な場合、GPSMAP USB OTG アダプターケーブル経由で HDMI ソースに電源を供給 (最大 2.5 W)
⑤	GPSMAP HDMI ケーブル (HDMI OUT)
⑥	Blu-Ray プレーヤーや Chromecast デバイスなどの HDMI ソース
⑦	水気のない所 (防湿)

コンポジットビデオに関する注意事項

この海図プロッタでは、CVBS IN というラベルの付いたポートを使用してコンポジットビデオソースからビデオ入力できます。コンポジットビデオを接続するときは、次の注意事項に従ってください。

- CVBS IN ポートでは、BNC コネクタを使用します。CVBS IN ポートとコンポジットビデオソースの接続に RCA コネクタを使用するには、BNC - RCA アダプタが必要です。
- ビデオは Garmin Marine Network で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。

接続コンピュータのタッチスクリーン制御

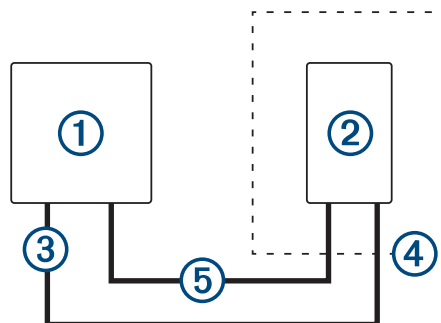
注記

水気による腐食を防止するためには、GarminGPSMAP 付属ケーブルを使用してチャートプロッタをコンピュータに接続する必要があります。別のケーブルを使用した場合、保証が無効になります。

チャートプロッタをコンピュータに接続すると、コンピュータ画面を表示したり、チャートプロッタのタッチスクリーンを使用してコンピュータを制御したりすることができます。コンピュータ画面を表示するには、HDMI IN ポートにコンピュータを接続する必要があります。チャートプロッタのタッチスクリーンを使用してコンピュータを制御するには、USB ポートにコンピュータを接続する必要があります。

GarminGPSMAP HDMI 付属ケーブルの長さは 4.5 m (15 ft) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ずアクティブ HDMI ケーブルを使用してください。2 本の HDMI ケーブルを接続するには、HDMI カプラーが必要です。すべてのケーブル接続は、水気のない所で行う必要があります。

GarminGPSMAP USB 付属ケーブルの長さは 4.5 m (15 ft) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ず USB ハブまたは USB リピーター延長ケーブルを使用してください。すべてのケーブル接続は、水気のない所で行う必要があります。



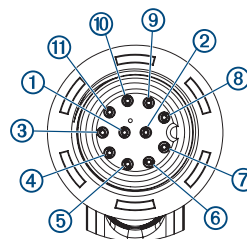
アイテム	説明
①	Garmin チャートプロッタ
②	コンピュータ
③	GPSMAPUSB ケーブル
④	水気のない所 (防湿)
⑤	GPSMAPHDMI ケーブル (HDMI IN)

NMEA® 0183 (オーディオケーブル付き) のピン配列

オプションの NMEA 0183 (オーディオケーブル付き、010-12852-00) には、ステレオ (FUSION®ステレオなど) にオーディオ出力を接続するための裸線と RCA コネクタが含まれています。このケーブルは、garmin.com または最寄りの Garmin 販売店から購入できます。

設置後、RCA コネクタをステレオの AUX 入力に接続できます。HDMI 入力はステレオに出力されます。

NMEA 0183 (オーディオケーブル付き) には、干渉測位方式の NMEA 0183 入出力ポートが 1 基装備されています。



ピン	ケーブルの機能	ケーブルの色
1	NMEA 0183 Rx/A (In +)	橙 / 白
2	NMEA 0183 Rx/B (In -)	白
3	NMEA 0183 Tx/B (Out -)	ピンク
4	NMEA 0183 Tx/A (Out +)	グレイ
5	アース	黒
6	警報	黄
7	アクセサリ (オン)	橙
8	アース (シールド)	茶
9	オーディオ左チャンネル	白
10	オーディオ共通	青/赤
11	オーディオ右チャンネル	赤

このケーブルを使った NMEA 0183 の配線の詳細については、www.garmin.com/manuals/nmea0183_audio_cable でケーブルの説明を参照してください。

NMEA 0183 の接続に関する注意事項

- チャートプロッターには、Tx (転送) ポート 1 基および Rx (受信) ポート 1 基が搭載されています。
- 各ポートには、NMEA 0183 の慣例に従って、A および B とラベルが付いた 2 本のケーブルがあります。各内部ポートの対応する A および B ケーブルは、NMEA 0183 デバイスの A (+) および B (-) ケーブルに接続する必要があります。

- このチャートプロッターへのデータ入力のために、Rx ポートに 1 台の NMEA 0183 デバイスを接続できます。また、チャートプロッターで出力されたデータを受信するために、Tx ポートに最大 3 台の NMEA 0183 デバイスを並行して接続できます。
- 転送 (Tx) ケーブルと受信 (Rx) ケーブルを区別するには、NMEA 0183 デバイスのインストールガイドを参照してください。
- ケーブルを延長して使用する場合は、28 AWG シールドツイステッドペアケーブルを使用してください。ハンダですべての接続部を固定し、熱収縮チューブで密封します。
- NMEA 0183 データケーブルをこのデバイスから電源アースに接続しないでください。
- チャートプロッターの電源ケーブルと NMEA 0183 デバイスは共通の電源アースに接続してください。
- 内部 NMEA 0183 ポートおよび通信プロトコルは、チャートプロッターで設定されます。詳細については、チャートプロッターマニュアルの NMEA 0183 セクションを参照してください。
- チャートプロッターがサポートする承認済み NMEA 0183 センテンスのリストは、チャートプロッターのマニュアルを参照してください。

仕様

デバイス	仕様	測定
全モデル	温度範囲	-15° ~ 55°C (5° ~ 131°F)
	材質	ポリカーボネートプラスチックおよびダイキャストアルミニウム製
	防水等級 ¹	IEC 60529 IPX7
	入力電圧	DC 10 ~ 32 V
	ヒューズ	10 A、125 V 速断型
	NMEA 2000LEN	2
	NMEA 2000 流量	最大 75 mA
	最大ウェイポイント数	5,000
	最大ルート数	100 (各 250 ウェイポイント)
	最大アクティブトラックポイント数	50,000 ポイント、50 件の保存トラック
	メモ리카ード	デバイス背面に 2 基の microSD カードスロット、最大カードサイズ 32 GB
	無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi®および ANT®技術 2.4 GHz @ 12.3 dBm 定格
	HTML 統合	OneHelm™統合に対応
	10 インチモデル	寸法 (幅×高さ×奥行き)
ディスプレイサイズ (幅×高さ)		136.9 × 218.4 mm (5 ³ / ₈ × 8 ⁵ / ₈ in.)
重量		2.4 kg (5.2 lb.)
フラッシュマウントデバイスの背後にある間隔		11.1 cm (4 ³ / ₈ in.)
コンパス安全距離		45 cm (17.7 in.)
DC 10 V での最大電力消費		40.1 W
DC 12 V での標準的な電流ドロワー		1.5 A
DC 12 V での最大電流ドロワー		6.0 A
12 インチモデル		寸法 (幅×高さ×奥行き)
	ディスプレイサイズ (幅×高さ)	257.3 × 145.2 mm (10 ¹ / ₈ × 5 ¹¹ / ₁₆ in.)
	重量	2.7 kg (6.0 lb.)

デバイス	仕様	測定
	フラッシュマウントデバイスの背後にある間隔	11.1 cm (4 ³ / ₈ in.)
	コンパス安全距離	35 cm (13.8 in.)
	DC 10 V での最大電力消費	45 W
	DC 12 V での標準的な電流ドロワー	1.3 A
	DC 12 V での最大電流ドロワー	6.0 A
16 インチモデル	寸法 (幅×高さ×奥行き)	384.7 × 262.6 × 75.1 mm (15 ¹ / ₈ × 10 ⁵ / ₁₆ × 2 ¹⁵ / ₁₆ in.)
	ディスプレイサイズ (幅×高さ)	345.2 × 194.6 mm (13 ⁹ / ₁₆ × 7 ¹¹ / ₁₆ in.)
	重量	4.4 kg (9.6 lb.)
	フラッシュマウントデバイスの背後にある間隔	11.1 cm (4 ³ / ₈ in.)
	コンパス安全距離	105 cm (41.3 in.)
	DC 10 V での最大電力消費	52.1 W
	DC 12 V での標準的な電流ドロワー	1.3 A
	DC 12 V での最大電流ドロワー	6.0 A
	ソーナーモデル	周波数 ²
送信出力 (RMS) ³		CHIRP : 1000 W Garmin ClearVü および SideVü CHIRP : 500 W
深度 ⁴		1 kW の場合、5,000 ft.

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

² 振動子により変わります。

³ 振動子の定格と深度により変わります。

⁴ 振動子、塩分濃度、底質、その他の水の条件により変わります。

NMEA 2000 PGN 情報

送受信

PGN	説明
059392	ISO の確認
059904	ISO の要件
060160	ISO トランスポートプロトコル : データ転送
060416	ISO トランスポートプロトコル : 接続管理
060928	ISO アドレス要求
065240	指定されたアドレス
126208	要求グループ機能
126996	製品情報
126998	設定情報
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127250	船体の進行方向
127258	磁気偏差
127488	エンジンパラメータ : 高速更新
127489	エンジンパラメータ : ダイナミック

PGN	説明
127493	転送パラメータ：ダイナミック
127505	液量
127508	電池の状態
128259	速度：水の抵抗を考慮
128267	水深
129025	位置：高速更新
129026	COG および SOG：高速更新
129029	GNSS 位置データ
129283	クロストラックエラー
129284	ナビゲーションデータ
129539	GNSS DOP
129540	視角内の GNSS 衛星
130060	ラベル
130306	風のデータ
130310	環境パラメータ (廃止)
130311	環境パラメータ (廃止)
130312	温度 (廃止)

転送

PGN	説明
126464	送受信 PGN リストグループ機能
126984	アラート応答
127497	トリップパラメータ：エンジン

受信

PGN	説明
065030	ジェネレーター平均基本 AC 量 (GAAC)
126983	アラーム
126985	アラートテキスト
126987	アラートの閾値
126988	アラート値
126992	システムの時刻
127251	回頭速度
127257	姿勢
127498	エンジンのパラメータ：スタティック
127503	AC 入カステータス (廃止)
127504	AC 出カステータス (廃止)
127506	DC 詳細ステータス
127507	充電器ステータス
127509	インバータステータス
128000	船舶リーウエイ角
128275	距離ログ
129038	AIS クラス A 位置レポート
129039	AIS クラス B 位置レポート
129040	AIS クラス B 拡張位置レポート
129044	基準面
129285	ナビゲーション：ルート、ウェイポイント情報
129794	AIS クラス A 静的な航海関連データ
129798	AIS SAR 航空機位置レポート
129799	無線周波数 / モード / 電源
129802	AIS 安全関連ブロードキャストメッセージ
129808	DSC コール情報
129809	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート A
129810	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート B
130313	湿度
130314	実際の圧力
130316	温度：拡張範囲

PGN	説明
130576	トリムタブステータス
130577	方向データ

J1939 PGN 情報

海図プロッタは、J1939 PGN センテンスを受信できます。海図プロッタは、J1939 ネットワーク上で伝送することはできません。

センテンス	説明
61443	電子エンジンコントローラ 2
61444	電子エンジンコントローラ 1
65031	排気温度
65172	エンジン補助冷却水
65252	シャットダウン
65253	エンジンの時間数と回転数
65262	エンジン温度 1
65263	エンジンフルードレベルまたは圧力 1
65270	吸気または排気状態 1
65271	車両の電力
65279	燃料計の水
65272	トランスミッションフルード 1
65248	車両距離
65266	燃費 (液体)
65276	ダッシュディスプレイ
65226	アクティブ診断トラブルコード

© 2019 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、および GPSMAP®は、米国またはその他の国における Garmin Ltd.の登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

HDMI®は HDMI Licensing, LLC の登録商標です。microSD®ロゴは SD-3C, LLC の商標です。NMEA®、NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは National Marine Electronics Association の登録商標です。

